

# タクイラ市とザ・ダルズ市を訪問

# 市内各所で文化交流



## 友好の絆をさらに強く

中学生8名と一般参加2名を中心とした14名で構成される三好市姉妹都市交流親善団が、7月22日から7日間の日程で、姉妹都市であるアメリカのタクイラ市とザ・ダルズ市を訪問しました。今回はザ・ダルズ市でホームステイを行うため、タクイラ市へは表敬訪問のみとなりました。

タクイラ市は、6月23日に市制100周年の記念式典を終えたばかりで、今年度中は100周年を祝う様々なイベントが続けられています。三好市を代表する親善団がタクイラ市を訪問し、100周年を共に祝うということとは、姉妹都市関係を継続するうえで、重要な意味を持ちます。

前タクイラ市長のステイブ・ムレット氏をはじめ、議会代表や姉妹都市提携委員など、多くの関係者に迎えてもらい、プレゼント交換で親睦を深めました。そして、昨年で完成20周年を迎えた「井川公園」も見学させていただきました。井川とタクイラの歴史を肌で感じる事ができました。

その後バスに乗り込み、5時間ほどでザ・ダルズ市に到着です。ホームステイ期間中には、GPSを利用した宝探し「ジオキャッシング」やラフティングなど、人気

生日を迎えた生徒はもちろん、その場に居合わせた私達も、とても温かい気持ちになることができ、姉妹都市という関わりが、心と心の繋がりになっていくのだと感じた出来事でした。

偶然にも近い距離にある2つの姉妹都市のおかげで、私たちは様々な人と出会うチャンスを得る事ができます。恵まれた環境を活かし、姉妹都市関係をさらに良いものへと発展させるためには、親善団として得た知識や経験を友人・家族などに伝え、より多くの市民が姉妹都市交流に関わっていただけるよう働き掛けることが大切だと感じました。

8月9日からの9日間、ザ・ダルズ市の学生ら7人が三好市を訪問し、ホームステイや市内視察をとおして三好市民と親睦を深めました。

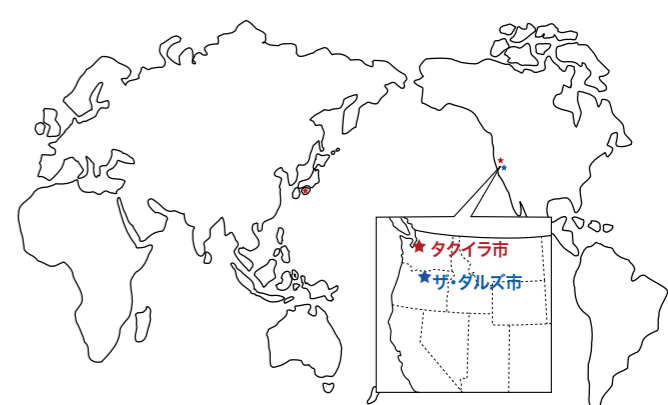
祖谷平家まつりの衣装を身に付けての記念撮影や、神代踊り体験などでは、三好市の歴史と文化を肌で感じる事ができ、警察署や消防署見学、白地小学校児童や地域住民との交流、阿波踊り体験などでは、私たちの日常に触れてもらうことで、日本への親しみがいつそう深いものとなったようです。



の高いレジャーを体験しました。ジオキャッシングには、昨年三好市を訪れた高校生も数人参加し、いくつかのグループに分かれて結果を競い合いました。GPSの見方を相談したり、質問したりする時は全て英語です。中学生たちは会話を苦労しているようでしたが、年齢が近いのですぐに打ち解け、上手にコミュニケーションがとれていました。

また、お別れパーティーの時、誕生日を迎えた生徒にお祝いのカードとケーキを用意してくれ、会場がハッピーバースデーの大合唱となったこともありました。誕生

ことができません。恵まれた環境を活かし、姉妹都市関係をさらに良いものへと発展させるためには、親善団として得た知識や経験を友人・家族などに伝え、より多くの市民が姉妹都市交流に関わっていただけるよう働き掛けることが大切だと感じました。







いけだ  
阿波  
おどり  
2008

三好市の真夏の一大イベント、いけだ阿波おどりが8月14日から16日までの3日間、今年もJR阿波池田駅周辺の各演舞場で盛大に開催されました。連日たくさんのお客で賑わい、最終日には大雨で一時中断にもなりましたが、演舞場に踊り込んだ踊る阿呆たちは、はつらつとした踊りを繰り広げ、棧敷席や沿道を埋めた市内外から来た観客を魅了しました。

池田総合体育館で13日に行われた前夜祭では、観光連4連(さつき連、

桑びす連、とうりやんせ、吉野連)がライトアップされたステージに次々に登場し、舞台用の演出を披露しました。演舞場で見る踊りとはひと味違った各連の踊りに、客席から大きな拍手がわき起こっていました。

14日には、関西京都今村組によるよさこいソーラン踊りのパフォーマンスや、芸能人の方々が市役所連とともに、また近頃人気者となっている山城大歩危妖怪村の妖怪達も踊る阿呆になって各演舞場を踊り歩き、観客の声援にこたえていました。

また、バスターミナルでは期間中、三好市の観光地を周遊するボンネットバスの発車時刻にあわせて日替わりで観光連が阿波踊りを披露し、訪れた観光客に自然あふれる三好市の観光地とともに阿波の夏の風物詩を味わっていただきました。

お盆の期間中は、昼夜を問わず、市内の様々な場所でも地元連による踊りが繰り広げられ、三好市内は阿波踊り一色に染まりました。

